



# 神奈川東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R I 会長 カルヤン・パネルジー



ココロの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| ● 会 長 加藤 仁 昭    | ● 会長エレクト 飯田 泰之   |
| ● 副 会 長 伊東 英 紀  | ● 副 会 長 山本 潔     |
| ● 幹 事 天野 公 史    | ● 副 幹 事 西山 潔     |
| ● 会 計 朝日 達 夫    | ● 副 会 計 田口 健太郎   |
| ● S A A 山本 芳 弘  | ● 副 S A A 吉田 隆 男 |
| ● 副 S A A 横 溝 亘 | ● クラブ会報 小 山 市 康  |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



写真提供 小池将夫会員

- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2011-2012年度 **第33号週報 No. 1732** 2012年(平成24年) 3月9日 第1732回例会記録 3月16日発行

**司 会** 西山 潔 副幹事

**点 鐘** 加藤 仁昭 会長

**斉 唱** 「我等の生業」

**ロータリーの綱領** 川邊 正男 社会奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**四つのテスト** 植田 清司 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 小川 直樹 様 (ゲストスピーカー)

**ビジター紹介** 神奈川 R C 朝木雄治郎 様

**会長報告** 加藤 仁昭 会長

・大連海事大学の教授に就任された米山学友の張蕾さんより、教授就任祝い受領御礼のメールを頂きましたので、ご報告申し上げます。

御無沙汰しておりますが、お元気でご活躍のことと存じます。

春節の休暇が終了大連に戻り、高田様がお届け下さった素敵な時計を受け取りました。鮮やかなブリザードフラワーに彩られたこの時計は、私の机の上で皆さまの変わらぬ愛と温かいご支援の時を優しく刻んでおります。悲しい時には優しく癒してくれ、疲れた時には力強く励ましてくれます。

日本にいた時と同じように今も私は皆さまに優しく見守られ励まされております。神奈川東ロータリークラブの皆様に心から感謝致します。

これからもより一層頑張りますので引き続きご指導ご鞭撻下さいませようお願い申し上げます。

春寒の候、くれぐれもご自愛下さい。

大連海事大学 張 蕾

**本日〈3月16日〉のプログラム**

- ◆ 斉 唱 「それこそロータリー」
- ◆ 献 立 山かけ井御膳
- ◆ 卓 話 「マレーシア・ルーヤン R C 公式訪問の報告」  
新世代奉仕委員長 白鳥 厚夫 会員

・地区より次年度地区委員宛に委嘱状が届いておりますので本日お渡し致しました。

- 赤堀 和人 会員 (R情報・広報・IT委員会 副委員長)
- 山田 正憲 会員 (RYLA委員会 委員)
- 江森 国一 会員 (R財団増進委員会 委員)
- 天野 公史 会員 (米山学友委員会 委員)
- 脇田いすゞ 会員 (米山学友委員会 委員)

### 幹事報告 天野 公史 幹事

- ・本日、例会終了後に3月度定例理事会を開催致します。
- ・地区より「2011-12年度インターアクト海外研修報告書」が届いておりますので回覧します。

### 委員会報告

#### R情報委員会 委員長 河野 明光

クラブ協議会を来週に控え、ここ何週かに渡り天野幹事が例会時において全員出席の呼掛けを行っていますが、本日は幹事に変わりロータリー情報委員会が皆さんへの呼掛けをさせていただきます。

「クラブ協議会、クラブフォーラムは共に3年未満会員は出席義務者です。」と、言われながら近年は該当会員のみならず一般会員の出席率もあまりよろしくありません。そこで「クラブ協議会」の出席が何故大切であるのかをロータリー情報委員会の立場で短い時間ではありますが述べさせていただきます。

まず「クラブ協議会」を一口に申すなら、各委員会の委員長が代表して、協議会開催日までの活動報告と今後の活動計画を各々報告し、それらを今年度のR I 会長方針や地区及びクラブ会長指針と照らし合わせながら活動のあり方を個々に、時には総括的に協議するために開かれるクラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合なのです。(よって全会員が出席義務者です)

しかし、この様な説明ですとどこか敷居も高そうで、積極的に参加し耳を傾ける気にもなれず、とどのつまり「委員長に一任します。」となるのでしょうか？

そこで、このようにお考えになってはどうでしょう。

「クラブ協議会」へ出席する最も大切な理由の一つとして、自分が収めているクラブ会費が今年度はどの様に活用されようとしているのか、(されたのか)を自らが直接理解する場であると考えてはどうでしょう。

クラブ、国際、社会、職業、新世代の各奉仕委員会には、その年度に活動するための「奉仕予算」が年度初めから組み込まれているのが通例なのです。それら奉仕委員会が、各々の予算に即した奉仕活動計画の検討と準備を委員会内で真摯に行われているのか？またそれが活動報告であれば、実行された奉仕活動が予算を有効活用し、どの様な成果を果たしたのか、それらを知る事はロータリアンにとってとても大切なことではないでしょうか。

また、クラブ奉仕委員会には現在、10の小委員会が属しています。「クラブ協議会」に出席して、今年度の会長指針をもとにそれらの委員会がどの様な活動をどの様に行っているのかを知る(学ぶ)事

は、ロータリーを理解する上でとても重要です。その実例として入会3年を超えたあたりから、そろそろ各委員会のリーダー的立場を求められるからです。

ある日、会長エレクトから委員長にと突然お願いされて、「それってどんな事をする委員会ですか〜?」、「エッ、僕にできますか〜」などと真顔で問う会員が増えますと古参会員は我がクラブの行く末を案じてしまいます。

是非、次週の「クラブ協議会」は第3四半期に至る当クラブ活動の経過説明を聞く権利と受け止め、クラブ全会員が万障繰り合わせてお時間の許す限り出席して頂き、当クラブ運営に更なるご協力とご理解をお示し下さいます様、よろしくお願い致します。

#### プログラム委員会 委員長 田口健太郎

昨年11月に皆様をお願い致しました『拉致被害者を救う会』への署名協力につきまして、お蔭様をもちまして最終的に273名の署名を集めることが出来ました。

ご協力ありがとうございました。

#### スマイルボックス 吉田 隆男 副SAA

神奈川RC 朝木雄治郎様 お世話になります。

加藤仁昭君 ①本日の卓話、横浜ビー・コルセアーズの小川直樹様、よろしくお世話致します。②小池さん、小山さん、角田さん、素晴らしい写真楽しませて頂きました。

富居利貞君 ご無沙汰しております。

河野明光君 月山さん、昨日はお世話になりました。久々にゆっくりと話が出来ました。

茂木知子さん ~コタキナバルレポートNo2~ 吉田会員感激！女子大生が泥だらけで作業しているのを見て、日本の若者も捨てたものではないと感激。もっと感激したことは、シャワーの設備がなく、川で水浴びするそうです。今回の訪問の際は女子大生水浴びの時間に合わせるそうです。

山本芳弘君 寒暖が激しいです。皆さん、ご自愛下さいませ。

吉田隆男君 節句も過ぎて、マンサク、トサミズキも咲きはじめ、いよいよ春到来です。

3月9日	7件	14,000円
本年度累計		1,483,278円



会員総数	56名	(39+17)名	
出席会員数	42名	(31+11)名	
出席率	84.00%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	92.16%	前々回補正後	94.12%

## 卓 話

## 「プロスポーツと地域との連携について」

横浜ビー・コルセアーズ ゼネラルマネージャー  
小川 直樹 様  
(紹介者 加藤 仁昭 会員)



## 1. 自己紹介

ただ今、ご紹介頂きましたプロバスケットボールチーム横浜ビー・コルセアーズ ゼネラルマネージャーの小川でございます。

本来であれば、球団代表の廣田が今回の卓話を担当させて頂く予定でしたが、我々が加盟しておりますリーグの緊急総会が開催され、その会議にどうしても出席せねばならない為、私、小川が代役を務めさせて頂きますことをご容赦願います。

さて、私は神奈川県川崎市の出身で、現在46歳になります。中学生の時に初めてバスケットボールという競技と出会い、既に30年が過ぎております。

競技者、指導者、チーム運営、ゲームオペレーション等、様々な経験をさせて頂いております。中学校、高校時代では大きな成績は残せず、保健体育の教員になることが夢でしたので、高校時代の恩師の薦めもあり、日本体育大学に入学をしました。

当時の日体大は学生界でも1、2を争う名門であり、多くの日本代表選手を輩出する大学でした。

一応、推薦での入学でしたが、当時は部員が400名というビッグクラブでした。1軍、2軍のA、B班、3軍の1班から4班までチームがあり、トータル400名でした。1軍とトレーナーは合宿所で生活をしておりましたが、何故か私も合宿所に入ることが決まっております、4年間、バスケットボール部の合宿所で生活をしてきました。厳しい世界でしたが、実社会で通用する様々な経験をさせて頂きました。

当然、東京都の教員採用試験を受験しましたが、バスケットボールに明け暮れる毎日でしたので、勉強する時間がありませんでした。単に言い訳でしかありませんが。当然、結果は「桜散る」でした。

学生4年間で大学日本一を2回、また大学4年時には学生無敗記録を作り、タイトルを全て獲得しました。そのメンバーの一員ということもあり、大学時代の恩師の薦めにより当時の日本鋼管株式会社に入社することになりました。

鉄は国家なりという言葉がありますが、幼少時は川崎で生活をしていましたので、日本鋼管の京浜製鉄所へ小学生の時に市内めぐりで見学をしたことがありました。あの大きな企業の日本鋼管に入社するとは夢にも思いませんでした。また、日本鋼管のバスケットボール部は日本バスケットボール界の中でも多くの歴史を残しており、東京オリンピックを始め、世界選手権等、多くの日本代表選手を輩出している名門クラブでした。

私も入社直後に日本代表チームから声を掛けて頂き、国際大会に出場した経験があります。バブルが弾けた時代でしたが、まだまだ良き時代でありました。

日本鋼管で9年間現役としてプレイし、その後2年間は本社で薄板の営業をしていました。現役時代は人の半分しか仕事をしていなかった為、現役引退後の業務は非常に厳しいものでありました。日常のストレス発散ではないですが、まだ身体が動く時期であった為、神奈川県の実業団選手として、また、関東実業団のサンダーコーチとしてバスケットボールに携わっていました。

1998年に神奈川県の実業団関係者から、「知的障害者のバスケットボール」について協力依頼がありました。私も日本のトップレベルでプレイをしてきましたが、日本国内に於ける底辺はミニバスケットボールだと思い込んでいました。しかし、良く事情を聞いてみると、障害者のバスケットボールは車椅子、聴覚障害、知的障害の3団体が存在するのを知りました。当時、横浜で知的障害者の全国大会が開催されており、一度視察をさせて頂きました。この辺の話は、本日皆様にお渡ししている資料をご参照頂ければと思います。

ちょうど、鉄冷えと言われる不況の時代に入っており、仕事もバスケットボールもという二束のわらじを踏む環境にはありませんでした。家族持ちである為、仕事はせねばならない。しかし、バスケットボールの活動も続けたい、知的障害者のバスケットボールを何とかしたいという気持ちが葛藤し続け、自分自身悩んだ時期でありました。

家内にも相談をし、最後は自分で決断をしましたが、社を退職し、再びバスケットボールの世界に入ってきた訳であります。

横浜市内にある知的障害者が生活の拠点とするグループホームの職員として採用して頂き、7年半、私の家族と知的障害者の共同生活が始まります。

2006年には知的障害者のバスケットボール世界選手権を横浜市にて開催をし、大成功を収めました。

国内外の関係機関から非常に高い評価を頂き、日本国内に於ける知的障害者のバスケットボール普及促進に繋がったものと自負しております。

## 2. 横浜市初のプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」誕生

今も申しましたとおり、神奈川県には37,000名の会員がおり、登録チームも1,900チームあり、共に日本で一番です。神奈川県バスケットボールの歴史は長く、また、マーケットとしては非常に魅力ある地であります。

皆様方もご存知かもしれませんが、スラムダンクという漫画が流行り、アメリカのプロバスケットボールリーグNBAで初めてゲームに出場をした田臥勇太選手も横浜市出身であります。

昨年は県立金沢総合高校の女子バスケットボール部がインターハイで全国優勝をしています。

また各カテゴリーでも全国レベルで優秀な成績を常に収めているのがこの神奈川県です。

県内にプロバスケットボールチームを作るという話はここ5、6年前から浮いては消えという状況でした。最後は神奈川県に何ら縁の無い人達が、神奈川県教育委員会まで行き、プロバスケットボールチームを設立しますという発言までしている。

チームを作る前にクリニックと称して、子供たちから高額な参加費を集めているという怪情報まで流れ、県を統括する協会としてはこのまま放置する訳にはいかないという結論に達し、防波堤の意味も含め、現在も協会の理事を務めておりますが、弊社代表の廣田が立上げを行った訳です。廣田とは長い間、JBLという企業スポーツのリーグのゲーム運営を共に行っておりましたので、都度会話をしていましたし、チーム立上げに伴い、加えて貰った訳です。

チームを作る前に設立委員会を立上げ、多くの方々にご協力を頂きました。ホームタウンをどうするかという問題があり、まずは神奈川県にお伺いを立てました。神奈川県では県の所有する体育館が限られており、プロチームがゲームを開催できるような施設が無いとのことでした。そこで、県内の市町村のスポーツ振興に関わる行政会議があり、プレゼンテーションをさせて頂きました。その結果、横浜市が手を上げて頂き、招致するという形になりました。

横浜市は大型スポーツ施設として横浜文化体育館、横浜国際プールという施設を所有しており、我々も現在、2つの施設をホームアリーナとして利用させて頂いております。

昨年4月、7月に渡米し、外国人コーチの面接、選手のトライアウトを実施し、リーグが始まる1ヶ月前に全ての選手、スタッフが揃い、デビューとなりました。

現在、スタッフ7名、選手は日本人選手が7名、外国人選手が5名の合計19名でチーム編成をしております。

お配りをさせて頂いておりますちらしをご覧になって頂ければと思いますが、一番背の高い選手が白人の選手で215cmあります。その次が207cm、200cmと大型の選手が続きます。私が195cmですので、どれほど大きいかお分かりになるかと思います。

我々が属しております日本プロバスケットボールリーグ、bjリーグと言いますが、全国で現在19チームあります。北は岩手県から南

は沖縄までですが、来シーズンは2チーム（東京、群馬）増えて21チームになる予定です。

岩手、秋田、仙台、新潟、富山、信州、埼玉、千葉、横浜、  
浜松、滋賀、京都、大阪、島根、高松、福岡、大分、宮崎、  
沖縄 / 計19チーム

## 3. 首都圏チームと地方チームとの違い

ここ横浜にはプロ野球の「横浜DeNAベイスターズ」、プロサッカーの「横浜Fマリノス」、「FC横浜」と、メジャーなプロのスポーツ球団が3つもあり、全国的にもこのような都市はないと思います。

そのような中、我々もチームを発足し活動している訳ですが、他の球団と違う点は、バスケットボールはインドアスポーツであること。これは天候に左右されないという利点があります。

また、ウィンタースポーツである為、他の球団とはシーズンがずれているということ。横浜では、年間を通じて、プロスポーツが楽しめる環境にあります。

現在、チームを運営しておりますが、非常に感じるのは首都圏のチームと地方のチームとでは、全く異なるということです。当然、コストの問題もありますが、首都圏、特にここ横浜は観光資源が豊富であり、また様々な情報も非常に入手し易い環境にあります。

すなわち、選抜肢が多すぎることです。このような言い方をすれば言葉に語弊が生じるかもしれませんが、地方では娯楽も少なく、おらが町のチーム的な発想になり易く、また、大きな違いは3世代家族が同居していることも決して珍しくはありません。

首都圏では、核家族化が進んでおりますが、子供が興味を持てば父母も付いてくる。また孫の為にとお爺さん、お婆さんまで付いてくるということです。これはbjリーグの新潟アルビレックスというチームが取っている手法で大成功を収めています。子供から大人までがチームカラーのオレンジ色のTシャツを着て、グラウンド、体育館でおらがチームの為に、一生懸命応援をしています。

リーグは異なりますが、先ほど名前を挙げました田臥勇太選手が所属をするリンク栃木ブレックスというチームは毎年、何百回も小学校を回り、出前授業を行っている、子供たちが興味関心を示せばそれなりにという形です。

また、bjリーグには沖縄のチーム「琉球ゴールデンキングス」というチームがありますが、チーム発足5年で観客動員30万人を超えたという例もあります。観光資源は豊富であります。県民の意識、常に新しいことを実現し、非常に盛り上がりを見せております。

ここ横浜では、コミュニティの場としての活用を考えています。ゲーム開催日にお爺さん、お婆さんと横浜駅で落ち合う。そしてバスに乗り、バスケットボールのゲームを通じて1日を楽しむ時間を共有するような。

海外のサッカーをテレビで観戦していてもサポーターの熱狂振りは凄まじいものです。ただ、日本人の特性と言いますか、冷静であり、非常におとなしく感じます。もっとチームに感情移入しやすい環境も含めて、何かを生み出していかなければと考えています。

プロバスケットボールの興行ですので、当然、エンタテインメント性を高めなければなりません。

ビー・コルセアーズのチアパフォーマンス集団のB-ROSEというグループがありますが、現在はダンスが非常に流行っています。

中学校の授業でも今後必修科目として取組みされることとなりますが、平成24年度に横浜市は「Dance Dance Dance」というイベントを開くそうです。市内のあちこちでダンスパフォーマンスが開かれると思いますが、我がB-ROSEにも正式に出演依頼がありました。

また、地域の小・中・高・大学生との連携でビー・コルセアーズのホームゲームでコラボレーションを計画中です。実際に会場で、目で見て楽しむという感覚を味わって頂ければ、更に輪が広がることと思います。

#### 4. 地域社会との連携強化

さて、昨年の東日本大震災による影響はかなり大きなものであり、我々、スポーツ界にも大きな打撃でした。

当時、横浜にはチームは無かったものの、仙台、埼玉、東京の各チームが震災による影響でシーズン途中で活動をストップしました。社会の中で自粛傾向が高まる中、いち早く試合を開始したのが、bjリーグでした。スポーツから得るパワーを復興支援に繋げたいとの思いからでした。

我々もチーム設立に向け、スポンサー獲得のための営業活動に全力を挙げており、いくつかの企業様から内定を頂いておりました。しかし、全て話しは中断となり、見送りという形になりました。野球、サッカーでも多くのチームがユニフォームにスポンサーを入れております。これは広告宣伝としての価値があるからだと思います。テレビ中継は少なくなったと言っても、マスメディアに取り上げられる数は断然多く、効果はあると思います。しかしながら、バスケットボール自体、マスメディアに上げられる数は非常に少ないのです。当然、宣伝価値としての扱いは低くなり、マイナー扱いされてしまう。

先ほども申しましたとおり、現在の県内の競技者人口は38,000名弱ですが、インドアスポーツでは非常に高い位置であります。また、競技者登録はしていないが、バスケットボールを愛好している人々は100,000人を超えていると言われています。更に過去、バスケットボールをプレイしたことがあるという人々を加えれば県内で1,000,000人を超えます。現在、神奈川県人口が9,000,000人ですので、割合としては非常に高いのです。

そのような方々をまずは中心に、チームを応援して頂こうと。そして地域の子供から大人まで、愛されるチームを作っていこうと、現在必死に活動しております。

新潟アルビレックスでは県内にいくつもの後援会組織が形成されています。〇〇地区後援会等、各地域で応援をして頂いている。数が集まれば本当に大きな組織になっていきます。

首都圏では「熱しくく、冷めやすい」という表現が妥当か否かわかりませんが、雰囲気的にはその通りだと思います。やはり、おらがチームという思いを持つ人達を多く集め、組織形成するしかないと思っています。

現在、企業も広告宣伝費としては非常に低くなっており、逆にCSRの活動には協力的です。

地域とのつながりを強く持ち、皆様方に愛されるチームを作っていくのが我々フロント陣の仕事だと思っています。

#### 5. オールバスケットボールの考え方

最後に、知的障害者のバスケットボールの話をして頂きましたが、障害者のバスケットボール界は本当に多くの問題を抱えています。

分かりやすい例ですが、公的な施設を借用することが非常に難しいということです。車椅子であれば、コートに傷がつきやすい、聴覚障害の場合は、施設に手話が出来る人がいなければ貸出することは難しい、知的障害の場合はいつパニックとなって器物破損の恐れがある。

横浜市は障害者スポーツセンターがありますので、大半がその施設を利用しています。この問題につきましては、行政サイドとも多くの議論を交わしておりますが、実際には難しい問題です。

プロであろうと、小学生であろうと、障害を持つ人々であろうと、バスケットボールには何ら変わりはありません。バスケットボールはひとつにならなければいけないと思いますし、彼等の活動を守るためにもプロ球団がしっかりせねばならない。そのような想いで現在活動しております。

つたない話で大変お聞き苦しかったと思いますが、何卒、ご容赦下さい。

このような機会を与えていただき、誠に有難うございました。



## ロータリーの歴史探訪

### 第7回

#### マフィアとの対決

職業倫理高揚を全面に押し立てて、社会改良運動に取り組んだロータリーと、当時シカゴに台頭したマフィアとの関係を見逃すことは出来ません。世に有用な職業を前提とするロータリーと、世に有害な職業を前提とするマフィアが、ここで真正面から対決するわけです。ロータリーの古い文献を調べると、これに関する幾つかの記事を見ることが出来ます。

1899年にブルックリンで生まれたアル・カポネは、10代半ばでニューヨーク・マフィアのチンピラとなり、1910年頃からシカゴで勢力を伸ばしつつあったジョニー・トリオの片腕となったのは1919年、彼が20歳の時でした。1920年禁酒法施行と共に、マフィアは大きく勢力を伸ばしていきます。

ロータリーの職業奉仕理念が完成し、その理念をロータリアン企業が実践に移して、業界全体の倫理基準を高めようとして活動した時期と、マフィアの勢力拡大の時期が、期せずして一致したことは皮肉なことです。

禁酒法の施行されていないイギリス、特にスコットランドから密輸されてくる酒を取り締まるために、両国が協定を結んだのは、二国間の争いを未然に防ぐためにロータリアンが実践した、他国法を尊重するという国際奉仕の成果であるといわれています。

マフィアによって牛耳られていた映画産業を肅清し、さらに公開前にその内容を検討するために広報委員会を作って、映画の倫理規制を実施しました。

禁酒法の影響を受けて、マフィアの影響力が強かったレストラン業界を、ガイ・ガンディカーが作った「レストラン協会の道徳律」を使って改革したこと。(※)

また、シカゴ・クラブ元会長ヘンリー・チャンバリン大佐をシカゴ市防犯委員長に任命して、マフィアの肅清にのりだして、1920年にはマフィアの息のかかった保釈保証人を告発したり、シカゴ・クラブ元会長ローシュ大佐の活躍も有名です。

1924年にはロータリアンの眼鏡商を証人として出廷させて、遺留品の眼鏡からマフィアの大物を逮捕し、ボビー・フランク殺人事件を解決したという記録が残っています。

連邦警察もエリオット・ネスを隊長とする特殊部隊を投入して、ついに1931年に所得税法違反でカボネを逮捕し、翌年実刑11年の判決を受けて、アルカトラズに収監されたことは、アンタタッチャブルでおなじみの話です。

ちなみに、カボネは若いときに感染した梅毒が悪化したため刑期半ばで釈放されたもののフロリダで廃人同様の生活を送り、1947年に48歳でこの世を去ります。奇しくもポール・ハリスの逝去と同じ年でした。

プロフィットを周りの人たちとシェアすることで自らの体質を改善して、大恐慌にも耐え得ることを実証し、さらに世に有用な職業を尊重し、自らの職業を通じて社会に貢献し、業界の職業倫理の高揚を求めてマフィアと対決しながら、みごとに勝利を勝ち取ったロータリーに対して、ロータリアンは当然のことながら、一般社会の人たちも大きな尊敬と賞賛を与えたことは明らかです。

脱税、贈収賄、不公正取引、市場買占め、おとり商法、他国法無視、契約不履行、商標侵害、現在はそのほとんどが立法化されていますが、これらの不合理な商取引が公然とまかり通っていた時代に、これに敢然と立ち向かって、ついに立法化にまでこぎつけたのは、ロータリーの功績なのです。

(※)「ガイ・ガンディカーのレストラン協会の道徳律」

1. 雇用主と従業員の関係

雇用、新入社員対策、昇給の機会、研修、雇用期間、労働条件、解雇、リクリエーション、福利厚生、能力の評価判定、雇用、解雇賃金、労働時間、休暇、安全規則、省力化対策、健康、若年労働者の福祉対策、就業規則のみならず、現在の労働諸法規が網羅されており、特に若年者の危険作業や、深夜労働が当然だとされていた1920年代にこれが制定されたことは脅威に値します。

2. 納入業者との関係・・・納期、支払い条件、リスク負担

3. 同業者との関係・・・公正な競争

4. 業界全体との関係

5. 一般社会・行政との関係

6. 顧客との関係

この中には、食品の品質管理、代替品の使用禁止、規格化されたメニュー、不当表示や誇大広告の廃止、定価販売、接客態度、チップをくれる客の選り好みの禁止、商品知識、等が詳細に定められています。

\* 参考文献 田中 毅 著 「ロータリー歴史探訪」

会長 加藤 仁昭

次回《3月23日》の卓話予定

テーマ「勝つために道を開く」

山崎 善也 会員

例会4回

2月度出席報告

名誉会員 出席率算除外会員 出席規定免除会員

会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ
青柳 紀	125	75	金森 欣一	100	75	友添 辰哉	100	75	吉田 隆男	75	50
赤堀 和人	100	75	川邊 正男	100	75	長井 章	125	100	吉橋佐千男	0	0
朝日 達夫	50	50	小池 将夫	100	50	中村 眞巳	0	0	我妻 隆邦	25	25
天野 公史	200	100	河野 明光	100	75	西山 潔	100	75	脇田いすゞ	100	100
雨宮 和則	25	0	小山 市康	125	100	藤橋恒一郎	50	50	渡邊 淳	125	100
飯田 泰之	175	75	佐藤 勝彦	100	100	布施 是清	100	100	富居 利貞	25	25
伊澤 政宏	100	75	澁谷 高弘	100	100	茂木 知子	100	50			
石川 正三	50	50	白井 康夫	100	75	森永 健	100	100			
伊東 英紀	150	100	白鳥 厚夫	125	75	矢野 修二	100	50			
岩澤 利雄	50	50	須永 久一	100	50	山木 幹夫	50	50			
植田 清司	100	50	高田 修	100	50	山崎 善也	75	75			
梅崎 興生	75	75	田口健太郎	100	100	山田 富雄	0	0			
江森 国一	150	100	竹山 洋	100	75	山田 正憲	100	50			
鴻 義久	100	100	田中龍太郎	125	100	山本 登	150	75			
大西 弘文	100	100	田邊 正彦	100	50	山本 芳弘	125	100			
大橋 秀行	0	0	月山 勇	125	75	横溝 亘	100	100			
加藤 仁昭	225	75	角田 伯雄	100	25	横山 範夫	125	75			

月平均 92.64%